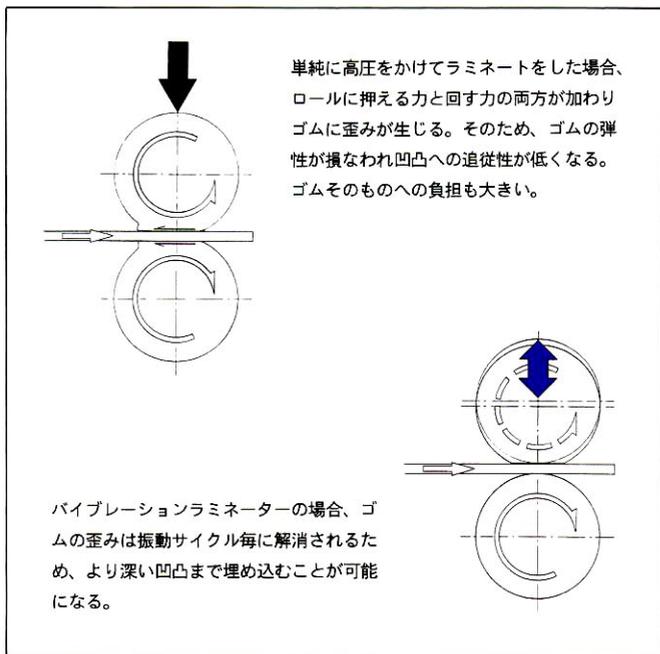


# VIBRATION LAMINATOR

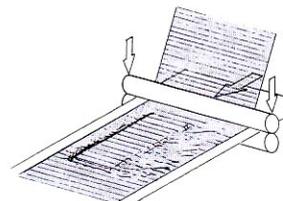
## VR-700

「叩いて」貼る。ラミネーションを一新する新技術誕生 **特許取得済**

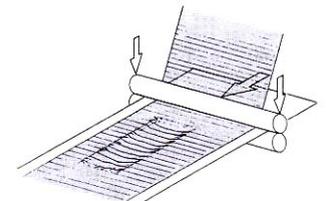
- 垂直に押し込む形でラミネートされるため、材料の凹凸にも追従します。例えば、プリント基板のパターン形成においては、ドライフィルムをPC板の細かいキズまで埋め込んで回路断線を防ぐことが可能です。
- 振動サイクル毎に加圧が解除され、材料に連続したテンションが掛かりません。そのため、ゴムや布など柔らかい材料でも延伸することなく貼り合わせることができます。
- 鋼板などの厚い材料でも、内部まで振動波が伝わり高いレベルでの圧着が可能となります。



通常のラミネーターの場合

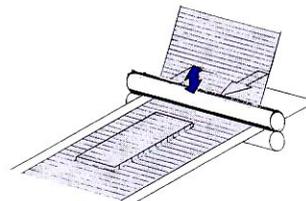


材料凸面に対しては、先端部の左右段差を高加圧で押し込んだとしても、材料の流れ方向に連続してねじれていくため、フィルム内の応力が累積され、いずれシワとして顕在化する。

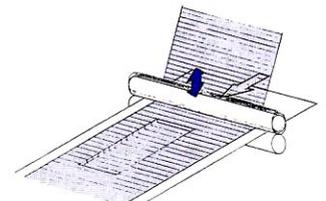


材料凹面に対しては、軸端加圧構造のため中央部ではロールが架橋状態になり、圧力が掛からず凹みを埋め込むことはできない。

バイブレーションラミネーターの場合



微振動によりマイクロレベルでは加圧が解除されており、フィルムのねじれは起こらない。また、加圧方向がほぼ垂直になるため流れ方向への応力自体ほとんど発生しない。



バイブレーションの効果で、回転方向の力と加圧力をほぼ分離することができる。そのため、振動サイクル毎にスタンピング状態となり、ある程度凹面も踏み込むことができる。

### 振動ユニット諸元

振動数(c/min)	振動力(kg)
420 ~ 2700 (Nタイプ)	3.1 ~ 18.9 (Nタイプ)
360 ~ 2300 (Tタイプ)	8.1 ~ 67.8 (Tタイプ)
21500 ~ 30000 (Kタイプ)	21 ~ 40 (Kタイプ)
22500 ~ 29500 (Rタイプ)	280 ~ 490 (Rタイプ)



## 大成ファースト株式会社

営業本部：〒176 東京都練馬区羽沢3丁目29番6号  
TEL 03(3993)6431(代)  
FAX 03(3948)4746